



FASSW

福岡県スクールソーシャルワーカー協会三年目の足あと

2014年度、福岡県におけるスクールソーシャルワーカー（以下、SSW）事業は拡充路線を継続しており、福岡県内では全60市町村のうち45市町（配置率75%）にて延べ100名のSSWが活動しています。県事業は第4期目に突入し、新たに6つの市町が加わりました。福岡市では前年度より倍増の24名体制となり、市内3分の1となる中学校区まで配置が拡大されています。単独事業としてSSWの配置を進める自治体も増えるなか、今年度は初めて県内の大学にも“キャンパスソーシャルワーカー”が誕生しています。これまでは小中学校を中心にSSW事業は展開されてきましたが、近年の高校や大学でのソーシャルワーカーの配置拡充は、学校教育現場における縦断的な支援ネットワーク形成に向け大きな可能性を期待するところです。このように目まぐるしく状況が変化するなかで3年目を迎えた福岡県スクールソーシャルワーカー協会（以下、FASSW）の一年を総括したいと思います。

まず、6月にはFASSWのメインイベントである第3回大会を春日市のクローバープラザで開催しました。大会は「非行問題と生徒指導—子どもたちの声が聞こえていますか？」をテーマに、現場の最前線で活躍する経験豊富な幅広い専門職の方々にご登壇いただき、基調講演や大会シンポジウムを行いました。また、今大会では新たな試みとして会員による実践発表、非会員を対象に教育委員会や学校関係者と効果的なSSWの活用を考える特別企画を実施するなど、会員の学校ソーシャルワーク実践の振り返りや協働する関係者のニーズにも対応した企画を提供することができました。

次に、研修事業では計画的に年間6回の研修を企画しました。今年度からは新たにSSWとして実務経験3年以上を対象とした「専門研修」と当該年度に協会推薦により県内でSSWとして活動することになった会員を対象に3日間連続の「初任者研修」をスタートしました。さらに、養成研修では全5回のすべてを受講された方に修了証を発行する取り組みも開始しました。研修は会員の皆様にとって最もニーズの高い事業であることから、年次大会と同様に次年度以降も「FASSWだからできる」や「FASSWにしかできない」ことにこだわりながら、魅力的なプログラムを企画して会員の皆様の期待に応えていきたいと思います。

そして、今年度は何と言っても広報啓発活動を活発に展開した一年でもありました。その最たるものは、4月に実現したFASSW運営委員の執筆による『スクールソーシャルワーカー実践事例集—子ども・家庭・学校支援の実際』の発刊です。近年、全国的にSSWに対する社会的な必要性が叫ばれるなか、子どもや大人の顔が見える直接的な支援を大切にしてきた私たちの学校ソーシャルワーク実践を一冊の本として出版できたことは、県内の関係者のみならず全国のSSWにも福岡県からメッセージを送ることができたのではないかと考えています。また、今年の1月には念願の協会ホームページも完成しました。広報事業担当者の尽力により、素敵なデザインと豊富なコンテンツを揃えた内容となっています。これからは広報誌、facebook、ホームページと多様な媒体を通じて広く協会活動を発信していきますので、乞うご期待ください。さらに、FASSWのオリジナル・ピンバッジも製作しました。手前味噌ではありますが、こちらも洗練されたスタイリッシュな仕上がりになっています。近いうちに会員の皆様の手元に届く予定ですので楽しみにお待ちください。

最後に、2015年度もFASSWはさらなる高みを目指して走り続けます。県内外の会員の皆様の実践に少しでも多く寄与することができるよう、多方面にわたり活動を展開していきます。直近の情報提供としては、5月16日（土）に春日市のクローバープラザで第4回大会を開催することが決定いたしました。大会では「振り返ろう！学校ソーシャルワーク実践—スクールソーシャルワーカーたちの主張」をテーマにシンポジウムを企画しています。SSW事業の拡大に伴い、さらに質の高い実践が要求されてくることが予想されますが、SSWの専門性向上やスーパービジョン体制の充実など喫緊の課題に真摯に取り組み、皆さんと共に次年度も協働して前進していきたいと思っておりますので、引き続きFASSWをどうぞよろしくお願いいたします。

2015年2月研修会



2015.02.14



養成研修

テーマ：「スクールソーシャルワーカーの仕事～配置型編～」

講師：土井 幸治

志免町教育委員会 スクールソーシャルワーカー

専門研修

テーマ：「事例検討」

スーパーバイザー：門田 光司

福岡県スクールソーシャルワーカー協会 会長

久留米大学文学部社会福祉学科 教授

事例提供者：濱 とおこ

小郡市教育委員会 スクールソーシャルワーカー

基礎研修

テーマ：「スクールソーシャルワーカーの専門性を考える

～自分の援助観をふり返ろう！～」

講師：寺田 有起

北九州市教育委員会 スクールソーシャルワーカー

養成研修

テーマ：「スクールソーシャルワーカーの仕事～配置型編～」

講師： 工井 幸治

志免町教育委員会 スクールソーシャルワーカー



今回は養成研修『スクールソーシャルワーカーの仕事～配置型編～』を受講させていただきました。スクールソーシャルワーカー（以下、SSW）は配置形態がその置かれている地域により異なっていることを学びました。その上でなぜ配置形態を学ぶことが重要なのかについて考えていくと、配置形態により現場でのSSWの認識のされ方や、活用の仕方に影響を与えているからなのではないかということが挙げられました。自分がSSWとして現場に入る時、どのように配置されているのかを知っておくことで、学校などに対してSSW自身がどのように動くことができるのかを伝えやすくなることや、自分自身が動きやすくなる環境を作りやすくなることに繋がるのではないかと感じました。

また、今回は配置型と派遣型のそれぞれの長所や短所をグループで話し合う時間もあり、改めて配置形態について見つめ直す機会になりました。研修の最後に事例検討を行いました。各グループでSSWの配置形態や勤務日数が違い、発表の際にグループ毎で働きかけの違いが見られ、とても興味深かったですし、児童生徒によりよい支援を行うためにも自分自身のことを理解しておくことの大切さを学びました。ありがとうございました。

学生会員 澄川 ちなみ

専門研修

テーマ：「事例検討」

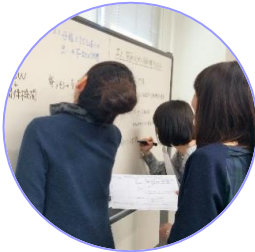
スーパーバイザー： 門田 茂司

福岡県スクールソーシャルワーカー協会 会長

入道大学文学部社会福祉学科 教授

事例提供者： 濱 とおこ

小郡市教育委員会 スクールソーシャルワーカー



グループで短期の支援計画を考えていくために、事例を聞いて今私たちが把握している状況と、得ている情報の中から気になることや、もやもやしていることをそれぞれが出していきました。そして家族それぞれに必要なことを考えていきました。まず、グループのメンバーみんなの感じていることがわりと似ていることに喜びを感じました。スクールソーシャルワーカー（以下、SSW）としての誇りを持って頑張っていて、ある程度のキャリアがある私たちの視点というのは、あまりズレがないのだなと思いました。もちろん物事の捉え方や考え方には個性があるので、違う気づきがあることも感じましたが、考えを一つにまとめていく作業も楽しいものでした。日頃のケース会議の中で数人の異なった意見を一つにまとめていく作業をする時にも、「これだ」というポイントが見える時があります。それが自分の考えていたものと違う時もありますが、支援をしていくみんなの意見が反映されて、もっといいものになります。今回の研修は特に実践で大いに役立つものとなりました。別のグループの違った考えや、事例提供者の素晴らしい実際の支援を聞くことができたことも、とても参考になりました。ありがとうございました。

正会員 高村 妃登美

基礎研修

テーマ：「スクールソーシャルワーカーの専門性を考える
～自分の援助観を振り返ろう！～」

講師：寺田 有起
北八州市教育委員会 スクールソーシャルワーカー



今回の基礎研修は、今までの基礎研修とは少し違い、自分の内面に目を向けるということが新鮮でした。学校の授業でも自己覚知は大切と教わっていますが、実際に現場で働いている方から聴くことにより、自己覚知をすることが現場でどのような意味があるのかということが明確に理解できた気がします。自分の考え方のクセを知り、その上で困っている方の支援に臨むということは、簡単なようで難しいことなのだと感じました。

また、外科医のクイズでは私がどれだけ先入観を持っているのかがとてもよく分かりました。現場で支援に入る際にも、自分の考えや先入観が邪魔をしてうまく支援ができない可能性があると思うと、今のうちから柔軟な考えを持てるように意識していかなければならないと感じることができました。これで5回全ての研修が終わりましたが、今回の研修で学んだことを改めてしっかりと考え、今後の仕事や生活の場で活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

学生会員 宮城 亜由己



特集 1

3年後どんなSSWになっ
ていたいですか？
または、どんなSSWと働
きたいですか？

3年後のSSW、今は届きそうで届かないところにいるSSW。
なりたいSSWになれた時、どんな出会いが待っている
のでしょうか。今から楽しみますね。
そして、ぜひ、なりたいSSWになるまでの過程も楽しんで
いきたいですね。

引き出しをいっぱい持っているSSW

見通しがきちんと持てるSSW

子どもに夢を与えられるSSW

専門性あふれるSSW

自信を持ってSSWを名乗れるSSW

なんかちよつと変な奴だな、面白いなって
思ってもらえるSSW

子どもから信頼されるSSW

場を和ませられるSSW

アクティブなSSW





特集2

来年度は〇〇な力(ちから)を身につけたい!!

この力を身につける過程では、どんな体験や、どんな感情が待っているのでしょうか。

一方、私たち同様、
子どもたちも身につけたいと思っている力があり、
その過程では、たくさんの体験や感情が待っていることでしょう。

お互いに身につけたい力をつけたとき
どんな出会いの瞬間が待っているか、楽しみですね。



研修会にてご協力頂いたアンケートをもとに作成しています。ここに掲載している他にもたくさんの回答をいただきました。
全てをご紹介できず、すみません。アンケートのご協力ありがとうございました。



福岡県スクールソーシャルワーカー協会第4回大会

振り返ろう！学校ソーシャルワーク実践 — スクールソーシャルワーカーたちの主張 —

2015.5.16 (SAT)

クローバープラザ508AB
福岡県春日市原町3丁目1番7号

総 会 開始 13:15(受付:13:00~)
大会シンポジウム 開始 14:30(受付:14:00~)

「振り返ろう!学校ソーシャルワーク実践
—スクールソーシャルワーカーたちの主張—」

シンポジスト 村松 静子 福岡市教育委員会他 スクールソーシャルワーカー
川野 真実 筑前町教育委員会他 スクールソーシャルワーカー
野中 勝治 苅田町教育委員会他 スクールソーシャルワーカー

座 長 奥村 賢一 福岡県スクールソーシャルワーカー協会 副会長
福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科 准教授

主催 福岡県スクールソーシャルワーカー協会

後援 日本学校ソーシャルワーク学会 福岡県教育委員会 福岡市教育委員会 北九州市教育委員会



福岡県スクールソーシャルワーカー協会

Fukuoka Association of School Social Workers

子どもたちと歩む...

福岡県スクール
ソーシャルワーカー
協会とは

広報誌

入会のご案内

研修情報

出版物

大会情報



福岡県スクールソーシャルワーカー協会の
ホームページを開設しました！！

<http://www.fassw-2012.jp>

今後はFacebookと併せて協会活動に関する情報発信を行っていきますので、
どうぞよろしくお願い致します。

永瀬 由季

YUKI NAGASE

福岡市教育委員会 スクールソーシャルワーカー



福岡市で平成26年度からスクールソーシャルワーカー（以下、SSW）をしております永瀬由季と申します。思い返せばあっという間に過ぎ去った1年間。4月当初は、自信のなさ、知識不足…あげたらきりが無い不安感でいっぱいでした。その中で壁にぶちあたったとき支えとなってくれたのは子どもたちの笑顔や、学校の先生方、SSWの先輩方、同期の皆さんのご助言やフォローでした。2年目からはもう少し余裕をもって、苦しい時でもその状況をプラスに変えられるように成長していきたいと思えます。私にはもう一つ息抜きになっているものがあります。それはゆるキャラの“ふなっしー”です。（福岡市でSSWをされている皆さんはよくよくご存知だと思います…）「日本を元気に！」、「子どもたちを笑顔に！」と飛び回っているふなっしーを見て私も元気をもらっています。少しずつ皆さんに自己開示していった結果、今では子どもたち、学校の先生方、福岡市SSWの皆さんがふなっしーの情報を下さることもしばしば。職場でのコミュニケーションを円滑にしてくれたふなっしーに感謝しつつ、私もSSWとして多くの子どもたちの笑顔が見られるよう頑張っていこうと思えます。



FASSWより：Facebookを立ち上げています！！

「福岡県スクールソーシャルワーカー協会」でご検索下さい。

研修事業より：次回の研修会は、4月11日（土）です。詳細はメーリング等にてご案内します。ご参加お待ちしております。

広報事業より：次回広報誌の配信は、8月末です。

発行責任者： 奥村 賢一

編集担当： 広報事業 蒲池 恵 寺田 有起 森山 麻衣子

お問い合わせ

福岡県スクールソーシャルワーカー協会 事務局

〒839-8502

福岡県久留米市御井町1635番地 久留米大学 文学部社会福祉学科 (担当/山崎)

Tel：0942-43-4411 Fax：0942-43-5160

E-mail：fassw-2012@hotmail.co.jp

